

## 里を描く 橋本守男 展

映画会社に勤めながらも画家への夢を追い求め、絵筆を握りつづけた橋本守男さん（83歳）の郷愁を誘う作品の数々を紹介します。

1936（昭和11）年、栃木県の小さな農家に生まれた橋本さんは、美術大学への夢を断念し、映画製作所で教育映画の製作に携わります。しかし、洋画家・牛島憲之などの指導を受けながら合間を見ては相模原や秦野・甲府盆地周辺を歩き回り、遠くに見える南アルプスの山々や目の前に広がる段々畑、果樹園などを描きつづけ、「さがみ美術協会」（現・相模原市美術協会）や「秦野美術協会」、全国規模の洋画団体「一水会」などで活躍しました。

本展では、“自然が先生”と言いながら、野や山を巡っては日本の原風景とも言うべき山里の姿を描きつづけた橋本さんの画業を、大小9点の油絵によるミニ展として紹介します。

ギャラリースタッフ・セレクション

= 市民ギャラリー - の学芸スタッフが、相模原ゆかりの画家などを独自の視点で紹介するアートスポットのミニ展示シリーズです



【会 期】 令和元年5月11日（土）～6月16日（日）  
午前9時～午後5時（水曜日休館）

【会 場】 相模原市民ギャラリー・アートスポット  
（JR横浜線「相模原駅」駅ビル・セレオ4F）

【作 品 数】 9点（油彩 F100～F15号）  
閲覧用紹介文（10ページ程度）・スケッチ場所紹介スライドあり

【作家略歴】 1936（昭和11）年 栃木県壬生町に生まれる  
1956（昭和31）年～版画家・若山八十氏に師事  
1957（昭和32）年～岩波映画製作所に勤務（科学教育映画などを製作）  
洋画家・牛島憲之に師事

1974（昭和49）年 相模原に居住（2000（平成12）年に山梨県笛吹市に移転）

【受賞暦等】 一水会展 入選9回  
さがみ美術協会展（市議会議長賞・教育長賞・相模原市長賞・大賞など）  
秦野美術協会展（美術文化賞・美術協会賞など）  
秦野市美術展（市民大賞など）  
山梨美術協会（優秀賞など）

【作品収蔵】 秦野市・笛吹市

【所 属】 （社）日本美術家連盟  
山梨美術協会

### 【問合わせ先】

相模原市民ギャラリー

: 042(776)1262

【担当】 竹内・柳川

（水曜日休館）

【展示作品（一部）】



「相模川晩秋」1998 130×162



スケッチ場所 下溝（三段の滝）



「相模野秋郊」油彩 1995 91×116



スケッチ場所（ギオンスタジアムの裏）



「鶏舎の見える右台さんの家」  
油彩 2006 162×130



スケッチ場所 山梨県笛吹き市  
境川町小黒坂



「晩夏」  
油彩 2003  
145×112

このように作品とそのスケッチ場所を展示会場のモニターで合わせて紹介（スライドショー）、時の流れによる景観の推移も併せてお楽しみください。